

公共事業継続箇所評価調査

(様式5)

評価確定日(令和7年 9月30日)

事業コード	R7-建-継-03		区 分	● 国庫補助 ○ 県単独
事業名	地方道路交付金事業(改築)		部局課室名	建設部 道路課
事業種別	一次改築(バイパス)		班 名	道路建設チーム (tel) 018-860-2492
路線名等	一般国道398号		担当課長名	道路課長 石川 康樹
箇所名	湯沢市稲庭		担当者名	チームリーダー 高野 健一
プランとの 関連	戦 略	防災・減災交通基盤		
	目指す姿	交流を支える交通基盤の強化		
	施策の方向性	高速道路等の整備		

1. 事業の概要

事業期間	H23 ~ R12(20年)	総事業費	52.0 億円	国庫補助率	0.59	
事業規模	○延長L=4,530m 幅員W=6.5(9.5)m(1.50+3.25+3.25+1.50)m					
事業の立案 に至る背景	○国道398号は宮城県石巻市から栗駒国定公園、小安峡温泉郷を通り由利本荘市へ至る主要幹線道路であり、湯沢市中心部からそれぞれの観光地へのアクセス道路でもある。 当該地区は「稲庭うどん」の生産地でもあり、多くの観光客が訪れているが、計画区間内の現道は幅員5.5m以下の区間が全体の72%を占め、歩道も整備されていないことから、車両の安全な通行に支障をきたしている。本事業は通過交通と地域内交通を分離するバイパスを早急に整備し、安全で円滑な交通を確保するものである。					
事業目的	○第二次緊急輸送道路としての機能確保 ○バイパス整備による安全で円滑な交通の確保 ・線形改良および幅員の確保による車両等通行の安全性の向上 ・通過交通の排除による沿線住民の安全性向上					
事業費内訳 事業内容 (単位:千円)			前回評価	今回評価	増 減	理 由 等
	事 業 費 内 訳	事 業 費	3,746,000	5,200,000	1,454,000	
		工 事 費	3,050,000	4,385,360	1,335,360	機材物価等の上昇に伴う増 河川協議による護岸工の増
		用 補 費 そ の 他	405,000 291,000	405,000 409,640	0 118,640	0 護岸詳細設計の追加等による 設計費用の増
	財 源 内 訳	国庫補助	2,210,140	3,068,000	857,860	
		県 債	1,382,274	1,918,800	536,526	
		そ の 他	0	0	0	
一 般 財 源		153,586	213,200	59,614		
事 業 内 容		調査・設計 改良工 舗装工 橋梁工	調査・設計 改良工 舗装工 橋梁工			
事業の進捗 状況	○令和6年度末で事業進捗率57%(用地進捗率99%) ○令和6年10月にバイパス区間620mと接続県道600mを部分供用開始 供用済み区間は合計で、バイパス区間2,180m、接続県道600m					
事業推進上 の課題	○特になし					
関連する計 画等	○湯沢市総合振興計画					
情勢の変化 及び長期継 続の理由	○特になし					
事業効果把 握の手法及 び効果	指 標 名	県管理道路における道路改築率(年度)				
	指 標 式	改築率(県管理道路改築済延長/県管理道路実延長)				
	指 標 の 種 類	● 成果指標 ○ 業績指標		低減指標の有無	○ 有 ● 無	
	目 標 値 a	52.2%(R7末)		データ等の出典	県調べ	
	実 績 値 b	52.2%(R6末)				
	達成率 b/a	100.0%		把握の時期	令和7年4月	

前回評価結果等	<input checked="" type="radio"/> 選定または継続 <input type="radio"/> 改善 <input type="radio"/> 見直し <input type="radio"/> 保留または中止
	①指摘事項
	特になし
	②指摘事項への対応
	特になし

2. 所管課の自己評価

観 点	評価の内容 (特記事項)	評 価 点
必 要 性	<ul style="list-style-type: none"> ○当路線は稲庭地区の生活道路であるとともに、観光拠点を結ぶアクセス道路であるため交通量が多く、車両のすれ違いが困難であるほか、十分な歩行空間も確保されていない。 ○堆雪幅が確保されていないため、冬期は交通空間がさらに減少する。 	15点
緊 急 性	<ul style="list-style-type: none"> ○通学路指定されているが、死傷事故が発生しており、安全な歩行空間の確保が急がれる。 ○当該工区は部分供用しており、一連の効果を発揮するため、残区間も早期に整備する必要がある。 	15点
有 効 性	<ul style="list-style-type: none"> ○観光拠点を結ぶアクセス道路が整備されることで、地域活性化を図ることができる。 ○通過交通と地域内交通が分離されることにより安全で円滑な交通を確保できる。 ○第二次緊急輸送道路に指定されており、整備による機能強化が期待できる。 	26点
効 率 性	<ul style="list-style-type: none"> ○事業の費用便益比は1.64であり、効率性は高い。 ・総便益の現在価値 99.6億円 ・総費用の現在価値 60.7億円 ○他工区の建設発生土を盛土材に使用しコスト削減を図っている。 	20点
熟 度	<ul style="list-style-type: none"> ○令和6年度末の事業進捗率は57%である (用地進捗率99%)。 	18点
判 定	ランク (●Ⅰ ○Ⅱ ○Ⅲ) 必要性、緊急性、効率性が高く、事業は引き続き実施すべきである。	94点
総合評価	<input checked="" type="radio"/> 継続 <input type="radio"/> 改善して継続 <input type="radio"/> 見直し <input type="radio"/> 中止 事業継続は妥当である。	

3. 評価結果の当該事業への反映状況等 (対応方針)

他工区の建設発生土を盛土材に使用する等コスト削減に努めながら、事業を継続する。

4. 公共事業評価専門委員会意見

県の対応方針を可とする。

公共事業箇所評価基準

評価種別 継続箇所評価
適用基準名 道路改築事業 (地域間交流・連携促進)

事業コード (R7-建-継-03)
箇所名 (湯沢市稲庭)

1. 評価内訳

観点	評価項目	細別	評価基準	配点	評価点	摘要	
必要性	道路の現状の問題						
	道路構造上の欠陥箇所数 ・車道幅員<5.5m ・最小半径<100m ・最急勾配>4% ・冬期堆雪巾なし	3箇所以上	8	8	3箇所	・車道幅員5.5m以下 ・最小半径20m ・冬期堆雪巾なし	
		2箇所	5				
		1箇所	3				
		該当箇所なし	0				
	道路環境上の欠陥該当項目 ・現道の混雑度≥1.0 ・走行速度≤30km/h ・現道の事故率≥50件 ・重大交通事故が発生 ・通学路指定で歩道なし ・バス路線で歩道なし	3項目以上該当	7	7	4項目	・混雑度1.03 ・現道の事故率111件 ・重大事故が発生 ・通学路指定で歩道なし	
		2項目該当	5				
		1項目該当	3				
		該当項目なし	0				
	計		15	15			
	緊急性	道路を取り巻く環境等					
		関連事業の有無 ・県の主要プロジェクト ・地域振興プロジェクト ・ほ場整備等の他事業	あり	5	5	湯沢市総合振興計画	
なし			0				
緊急度の高い課題の有無 老朽橋、災害危険箇所、迂回路の確保 冬期通行不能区間等		あり	5	5	現況交通量に対し、規定の車道幅員が不足		
		なし	0				
同一路線の整備状況		整備済み	5	5			
	未整備	0					
計		15	15				
有効性	道路の位置付け						
	緊急輸送道路	第1次輸送道路	8	6	第2次緊急輸送道路		
		第2次輸送道路	6				
		第3次輸送道路	4				
		指定なし	0				
	救急医療施設へのアクセス	アクセス性向上に大きく貢献	7	5	雄勝中央病院		
		アクセス性向上に貢献	5				
		アクセス性向上に一定の効果	3				
	観光・産業の活性化	活性化に大きく貢献	7	7	稲庭うどん 栗駒国定公園 小安峡温泉郷		
		活性化に貢献	5				
		活性化に一定の効果	3				
社会変化による事業の必要性	必要性が高い	8	8	部分供用済み (R6年10月) 東北中央自動車道へのアクセス強化			
	必要性が低下傾向	4					
	必要性が著しく低下	0					
計		30	26				
効率性	事業の投資効果等						
	費用便益比 (B/C)	1.0以上	5	5	1.64		
		1.0未満	0				
	計画交通量	4,000台/日以上	5	5	6,300台/日		
		1,000台/日以上4,000台/日未満	3				
	コスト削減	1,000台/日未満	0	5	発生土を盛土材として使用		
		あり	5				
	事業中止による影響	なし	0	5	大規模バイパス		
既投資額の損失大		5					
既投資額の部分的損失		4					
	既投資額の損失が少ない	3					
計		20	20				
熟度	事業の進捗状況						
	事業の推進	地域や市町村からの要望書等が提出されている	6	6			
		地域や市町村からの要望書等が未提出である	0				
	事業の進捗 (事業費)	8割以上完了	7	5	57%		
		5割以上完了	5				
		1割以上完了	3				
		1割未満	1				
	用地買収の進捗 (面積)	8割以上完了	7	7	99%		
		5割以上完了	5				
		1割以上完了	3				
		1割未満	1				
未着手		0					
計		20	18				
合計			100	94			

2. 判定

ランク	判定内容	配点	判定	摘要
I	優先度がかなり高い	80点以上	I	
II	優先度が高い	60点以上80点未満		
III	優先度が低い	60点未満		